

鶴岡信用金庫  
創立100周年記念事業

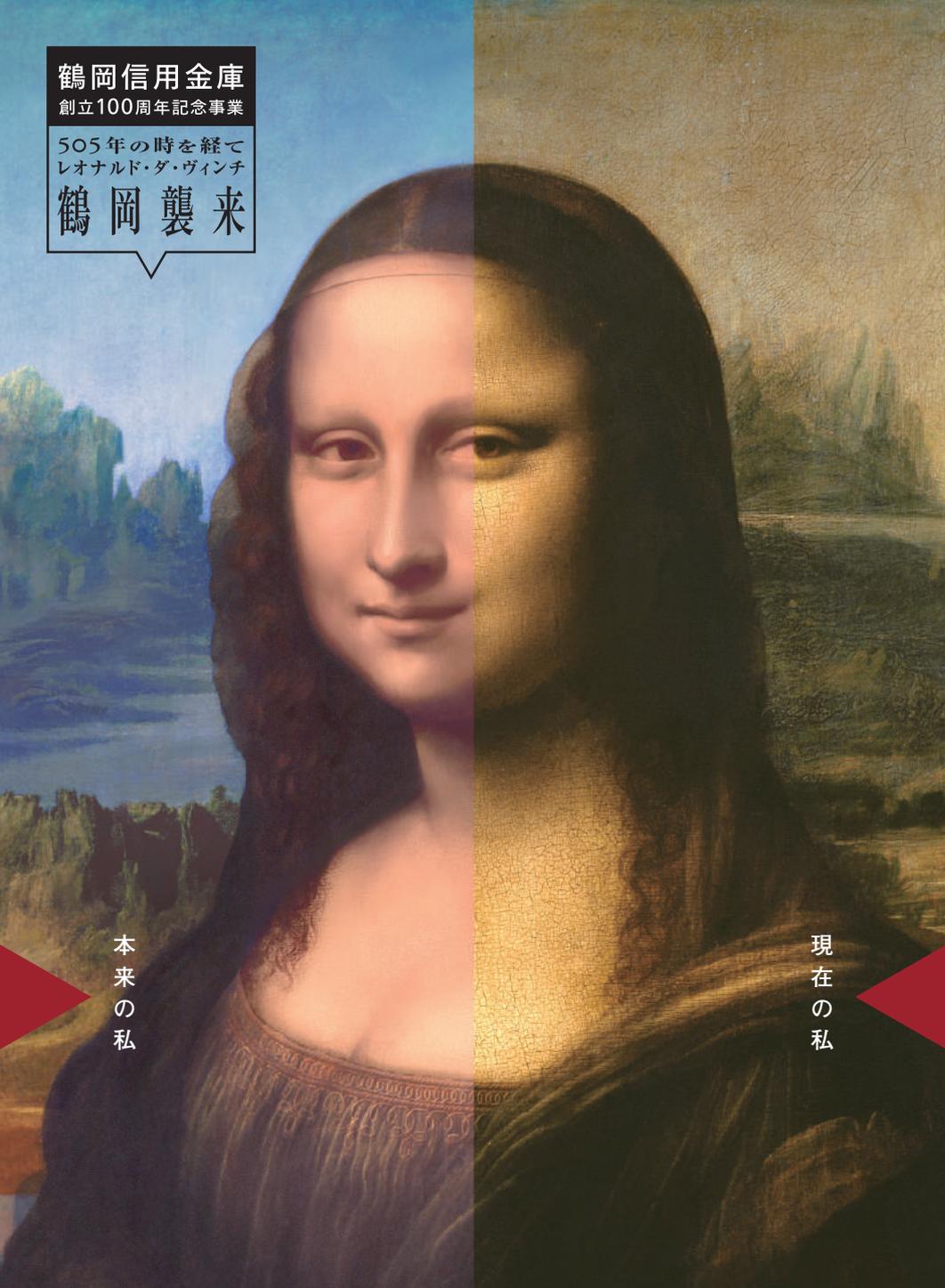
505年の時を経て  
レオナルド・ダ・ヴィンチ

鶴岡襲来

ダ・ヴィンチ

— 没後 —

505  
年



本来の私

現在の私

2025. 6.5 Thu. ▶ 7.5 Sat.

入場料金 1000円 (高校生以上)  
無料 (中学生以下)

展示時間 9:30 → 18:00  
※ 休館日: 月曜日 (観覧券販売は17:30まで)

鶴岡アートフォーラム

山形県鶴岡市馬場町13-3

主催: レオナルド・ダ・ヴィンチ展事業実施委員会

後援: 鶴岡市・鶴岡市教育委員会・公益財団法人致道博物館・鶴岡観光協会

イタリア大使館・イタリア政府観光局・イタリア文化会館・公共財団法人日伊協会

協力: 株式会社山形新聞社・株式会社荘内日報社・有限会社写真の松森

東北公益文科大学 企画・制作: 東京造形大学

特別協賛: 鶴岡信用金庫 協賛: 旭光通商株式会社

お問い合わせ: レオナルド・ダ・ヴィンチ展事業実施委員会運営室

davinci.tsuruoka2025@gmail.com



チケット購入はコチラ



夢の  
実観

Realization of the Dreams of  
Leonardo Da Vinci (1452-1519):  
505th Memorial Exhibition



かつて庄内には「もうひとりのダ・ヴィンチ」がいた。

鶴岡信用金庫 創立100周年記念事業

同時開催

庄内が生んだ不世出の英傑  
「日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ」

# 松<sup>まつ</sup>森<sup>もり</sup>胤<sup>たね</sup>保<sup>やす</sup>展



松森胤保

山形県庄内地方で幕末から明治中期にわたり多分野において活躍した人物の中で、最も傑出した人物と伝えられるのが松森胤保(1825~1892年)である。庄内藩士の家に生まれ、庄内藩の分家に当る松山藩の付家老の武人でもあった。戊辰戦争では松山藩一番隊長兼庄内藩一番大隊参謀として大きな戦果を挙げ活躍する一方、若いころから幅広く学問に精通し、生涯にわたり多くの記録や著作を書き記した。動物の博物学はもとより、物理、化学、工学、考古学、歴史、民俗学とあらゆる分野に精通し、収集家・著述家・発明家としての顔を併せて持つ稀代の英傑であった。代表的著書とも言うべき『両羽博物図譜』は、当時の日本にとっては新しい動植物の写生が描かれ我が国でもまれに見る博物誌と高く評価されている。まさに「日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ」と呼ばれるにふさわしい多分野に秀でた人物であった。

## 松森 胤保(まつもり たねやす)

文政8年(1825)、鶴岡の中級士族・長坂家の9代目として生まれる。13歳で庄内藩校致道館に入所。32歳で助教(教頭)に就任。38歳で家督を継ぎ致道館を去るまで藩士の子弟教育に励む。39歳で庄内藩の支藩・松山藩の家老に就任。戊辰戦争でも大きな戦果を挙げるなど奮闘。長年の功績により藩主から「松山を守ってくれた」との感謝の意を込めて「松守」の姓を賜るも、おそれ多しとして「松森」と改称し以後、名乗るようになった。59歳で『両羽博物図鑑』の執筆を始める。明治25年(1892)、永眠。享年68歳。

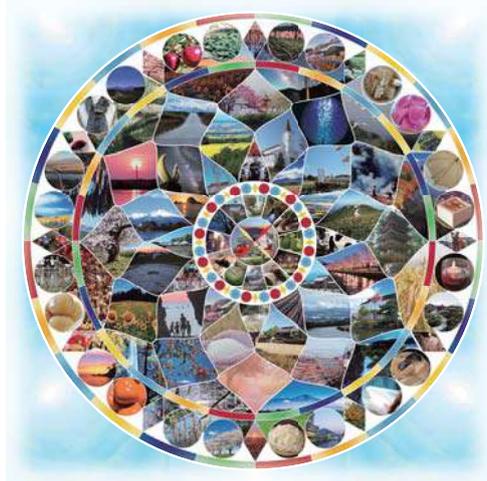


自ら発明した飛行機「鳥船」の完成予定図。月山から山形までの飛行計画を立てていた。



『両羽博物図譜』は、植物、昆虫、蜘蛛、魚類、両生類、鳥類、きのこなど多種にわたる博物を美証的に調査し、美しい毛筆で写生した貴重な図録である。

これからの百年、  
もつともつと輝くように。  
庄内に生きる人を、  
とことん見守っていききたい。  
庄内を愛する人を、  
とことん支えていききたい。  
とことん、庄内。  
つるしん、新たな百年への決意です。



わたしたちの故郷には  
これから百年たつても  
残していきたいものが  
数えきれないほどあります。  
残したいものが多いほど、  
大切にしたいものが多いほど、  
人や地域がきつと  
輝き続けるはず。



入場チケットの半券をご提示いただくと、庄内の地区の飲食店・小売店・宿泊施設等で様々なサービスが受けられます。対象となる事業者は、右のQRコードからご確認いただけます。※対象となる事業者は順次追加していきます。

【お問合せ先】レオナルド・ダ・ヴィンチ展 事業実施委員会運営室  
davinci.tsuruoka2025@gmail.com



↑  
対象事業者は  
ここから検索